

神 戸 慶 應 俱 楽 部 時 報

同 窓 會 特 別 號

同 窓 の 辭

福 澤 諭 吉

我 社 中 の 如 き は 天 下 到 る 處 同 窓
 の 兄 弟 あ ら ざ る の 地 な し と 云 ふ
 も 可 な ら ん、人 間 無 上 の 幸 福 と
 云 ふ 可 し、我 輩 既 に 此 幸 を 得 た
 り 豈 偶 然 な ら ん や、さ れ ば 今 後
 と ても 此 兄 弟 な る 者 益 相 親 み、
 益 相 助 け て、互 に 善 を 成 し、互
 に 惡 を 警 し め 世 に 阿 る こ と なく
 世 を 恐 る、こ と なく、獨 立 し て
 孤 立 せ ず、以 て 大 に 爲 す あ ら ん
 こ と を 諸 君 と 共 に 願 ふ 所 な り。

(福澤先生慶應義塾新年會發會の記の一節)

第 二 十 一 號 昭 和 十 年 十 一 月

同 窓 會 特 別 號 目 次

神 戸 慶 應 俱 楽 部 沿 革 の 概 略
 各 部 の 設 備 概 要
 維 持 會 員 に 就 て
 年 度 會 に 就 て
 新 會 員 募 集
 會 計 狀 態 に 就 て
 慶 應 義 塾 神 戸 同 窓 會 委 員
 俱 楽 部 ラ イ フ
 先 生 を 知 る ま で
 實 業 教 育 振 興 策 研 究
 釧 牛 兩 大 學 ボ ー ト レ ー ス
 感 想 二 つ
 感 想
 俱 楽 部 競 技 ミ フ ァ イ テ ン グ
 ス ピ リ ッ ト
 先 輩 の 顔 が 見 た い
 義 塾 機 械 操 縦 部 選 手 の 歸 朝
 俱 楽 部 會 合
 會 員 動 靜
 寄 贈 圖 書

阿 崎 忠 雄
 南 榮 太 郎
 山 口 八 左 右
 三 宅 郷 太
 山 本 流
 關 谷 力
 B R O
 B R O
 B R O

神戸慶應俱樂部沿革の概略

神戸慶應俱樂部と言ふ名稱の會が生まれたのは大正十二年九月のこと、これは主として大正十年以後の若い職員が組織して相互の親睦を圖ると共に將來は在神全塾員を擧げて一團とする立派な俱樂部設置を目的とする建設運動でありました。其後幾變遷を経つても向上の一途を辿りながら常に神戸三田會と密接なる連絡をとりつゝ漸時發達成長して來ましたが、昭和五年七月に於て三田會と合同して新に神戸三田俱樂部と云ふものが設立されて、神戸慶應俱樂部なる名稱が一時消滅したのであります。

神戸三田俱樂部は設立と共に直ちにルーム設置の必要を感じ、その具體運動を起して、先づ元町四丁目の寶亭の一隅に不完全ながらの俱樂部設備を施し、常に俱樂部擴張の準備に非常な努力をしてゐたのである。併し種々の事情の爲めに仲々實現に至らなかつたのであつた。

然し神戸に於ける俱樂部の専用ルームの常設の多年の懸案は漸次實現の曙光が現はれて昭和六年二月委員が選ばれて實行運動に移り終にルームは神戸市神戶區榮町二丁目日本海上保險會社の二階に決定され二月末家具調度品一切の納入を了して、茲に永年の宿望は達せられ、名稱も三田俱樂部を改めて、再び神戸慶應俱樂部となり、

山口八左右君が幹事長に推され幹事二十名が選出されたのである。これより以前六年一月十日福澤先生誕生記念席上に於て神戸三田會の事務は神戸慶應俱樂部に於て一切を取することに決議されてゐるのであります。

愈々五月八日には神戸慶應俱樂部専用ルーム披露會式が舉行され、林塾長及小泉教授を迎へ、非常な盛會で出席者來賓を加へて百一名でありました。

昭和六年八月「神戸慶應俱樂部會報」第一號が發行され林塾長の祝詞が掲載さる。以後休刊の狀態であつたが昭和八年五月二十五日「神戸慶應俱樂部時報」と改題されて改めて發刊されて今日に及んでゐるのであります。現在の題字は其時林塾長の筆になつたのであります。

然るに其後俱樂部は益々發展し利用者は増加しその要求により再々ルーム擴張の必要を齎し昭和七年七月元町七丁目に移轉し、益々發展したのであります。此時加藤直治君が幹事長に選ばれたのであります。現在の俱樂部の電話元町三〇四八番は同氏の寄贈によるものであります。

かくて昭和八年三月津田信吾君が幹事長に就任され同五月七日には、神戸慶應俱樂部大園遊會を須磨岡崎忠雄君の庭園を拜借して開催し、出席者は四百名以上の多數

にして盛大を極めたのであります。この時の幹事の努力は非常なるものであつたが又津田信吾君の絶大な援助があつたのであります。

昭和九年二月中旬俱樂部は三度大飛躍を致し、神戸のメーンストリート元町六丁目元町ビルに移轉し、以來現在に及んでゐるのであります。時の幹事長津田信吾君はこの移轉に多大の寄附をされ非常なる御盡力を得たのであります。又現規約は同年二月二十二日の總會に於て満場一致可決されたのである。

次いで昭和九年三月谷井保君が津田君の後を次いで幹事長に就任されたのであります。谷井君は神戸に於ける最長な先輩でありまして、老體にあらうにもかゝはらず常に俱樂部のために御盡力され各會合に出席され益々部の充實を計られて今日の盛況を得たのであります。

昭和十年三月岡崎忠雄君幹事長に就任され現在に及んで居るのであります。現在の會員は二百八十九名であります。

尙現在の俱樂部規約及役員は左の通りであります。

神戸慶應俱樂部規約

第一章 總 則

- 第一條 本俱樂部ハ神戸市及其近郊在住慶應塾々員相互ノ親睦ヲ圖リ連絡ヲ鞏固ニスルヲ以テ目的トス
- 第二條 本俱樂部ハ神戸慶應俱樂部ト稱ス

第三條 本俱樂部ハ神戸市ニ置ク

第四條 本俱樂部ハ會員ノ集會懇親ノ便ニ供スル爲俱樂部ルームヲ設ケ廣ク會員ノ利用ニ供ス

第五條 本俱樂部ハ會員ノ親睦ヲ圖ル爲適時會合ヲ催ス

第六條 本俱樂部ハ會員ノ動靜其他諸事項報告ノ爲會報ヲ發行ス

第二章 會 員

第七條 神戸市及其近郊在住ノ慶應塾々員及役員會ノ推薦ヲ經タル義塾縁故者ハ本俱樂部會員タルコトヲ得

但所定ノ書式ニ依リ入會ノ申込ヲ爲スコトヲ要ス

第八條 會員ハ會費トシテ一ケ年金拾貳圓也ヲ納メ其拂込ハ之ヲ分納スルコトヲ得

第九條 會員退會セントスル時ハ幹事長ニ届出ヅルコトヲ要ス

第十條 會費滞納六ケ月以上ニ及ブ時ハ幹事會ノ決議ヲ以テ之ヲ退會者ト看做ス

第十一條 既納ノ會費ハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ返還セズ

第三章 役 員

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

幹事長 一名

幹 事 二十名以内

相談役 若干名

第十三條 幹事ハ毎年幹事會ノ推薦ニ依リ之ヲ定メ其任期ヲ滿一ケ年トス

但重任ヲ妨グズ

第十四條 幹事長ハ幹事會ノ推薦ニ依リテ之ヲ定メ其任期ヲ滿一ケ年トス

但重任ヲ妨グズ

第十五條 相談役ハ幹事會ノ推薦ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 幹事長ハ本俱樂部ヲ代表シ幹事會ノ決議ヲ經テ會務ヲ執行ス

第十七條 幹事ハ幹事長ヲ補佐シ會務ヲ執行ス

第十八條 幹事會ハ幹事長之ヲ召集シ議事ハ出席幹事ノ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナル時ハ幹事長ノ決スル所ニ據ル

幹事長事故アル時ハ年長幹事代テ其職務ヲ行フ

第四章 維持會

第十九條 俱樂部會計狀態ノ維持安定ヲ圖ル爲ニ本俱樂部内ニ俱樂部維持會ヲ設ク

第二十條 第十九條ノ趣旨ニ賛同スル本俱樂部會員ヲ俱樂部維持會々員トス

第二十一條 俱樂部維持會々員ハ一口ニ付毎月金壹圓也ヲ二ケ年繼續醸出スルモノトシ一時ニ全額ヲ拂込ミ且ツ一人幾口ニテモ加入スルコトヲ得

第二十二條 既納ノ俱樂部維持會職金ハ之ヲ返還セズ

第二十三條 俱樂部維持會ノ事務ハ總テ本俱樂部幹事之ヲ處理ス

第五章 會計

第二十四條 本俱樂部ノ經費ハ會費、維持會職金、寄附、資産ヨリ生ズル收益及雜收入ヲ以テ之ヲ支辨スルモノトス

第二十五條 會計管理ハ幹事ノ互選ヲ以テ會計係二名以上ヲ定メ之ヲ行フモノトス

第二十六條 本俱樂部ノ會計年度

ハ毎年二月一日ニ始リ翌年一月卅一日ニ終ル

第二十七條 本俱樂部ノ會計及事務報告ハ毎年四回會報ニ於テ之ヲ爲ス

第六章 規約

第二十八條 本規約ヲ改正セントスルトキハ役員會ノ決議ヲ經テ總會ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

相談役

- 本多 一太郎
- 岡崎 忠雄
- 岡田 重義
- 上西 龜之助
- 川西 龍三
- 甲野 雄二
- 津田 信吾
- 山口 八左
- 谷井 保
- 松田 久左衛門
- 末正 忠雄
- 岡崎 幸雄
- 尾崎 爲一
- 石黒 敬修
- 芳永 保太郎
- 大矢 敏次郎
- 富安 昌作
- 濱田 精一
- 安原 仙三
- 多木 麟太郎
- 杉原 連治
- 岡本 虎雄
- 鈴木 六郎
- 山下 三郎
- 山崎 眞一郎
- 芦原 龍三

各部の設備概要

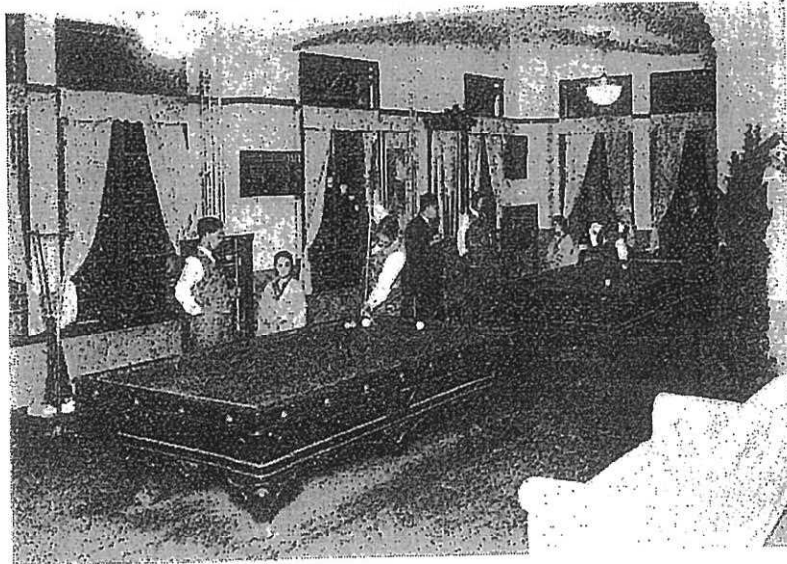
竹内勝太郎
足立忠二郎
御手洗清眞

俱樂部は塾員同窓の社交場である、大いに談笑し、大いに遊び、大いに飲み、大いに食ひ、大いに學びつゝ、修養をし人格を磨き、身體を健康にし、相親み、相助け、義塾の精神を益々涵養して、實踐窮行以テ全社會の先導者たらんことを期するところである。

されば各部の設備を充分利用して練習して常に自己を生かし、常に新らしく、進取の氣象を育はれたきものである。

左に各部の寫眞を掲げその内容の詳細を御紹介致しますから大いに御入會して御利用下さいその主なるもの左の如し。

- 撞球部
- 圍碁部
- 將棋部
- 麻雀部
- ゴルフ部
- 庭球部



撞球部の實況

- スキ、スケート部
- 登山、ハイキング部
- ダンス研究會
- 月例會、講演會
- 圖書部、バー食堂部
- サンマハウス設備
- 以上

撞球部

撞球部では二臺の玉臺を用意して會員相互の親睦に資してゐます二臺もあれば町では立派に營業して行けるのに、我俱樂部では足が

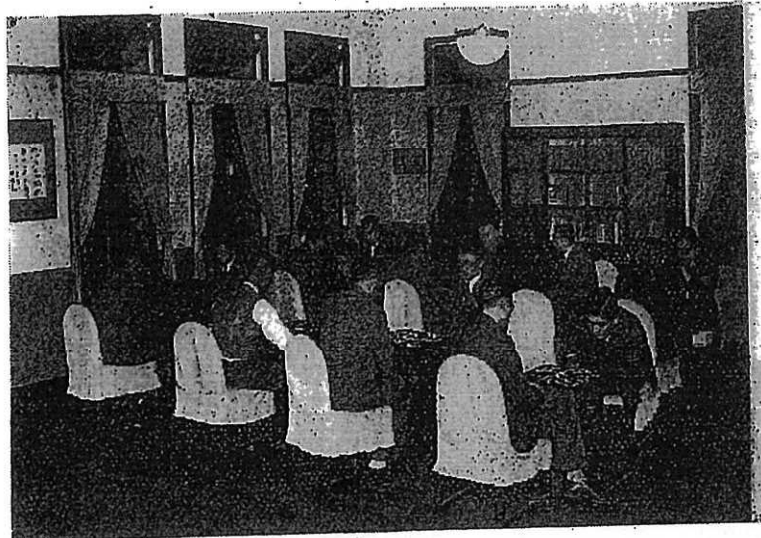
出る。夫は税金の關係にもよるが利用者が比較的少ないことが主因となつてゐる。若い會員方はどしどし突きに來て頂き度い。二臺共遊んでゐるのを見る時は實に勿體ない氣がする。廣い俱樂部内で赤白ぶつつかる玉の音を聞くのは何となく氣持のよいものである。廣い所でのんびりした氣分で玉を突くのは實に愉快なことだ。初歩の方で「レツスン」を探りたい方が多ければ斯界の權威者を聘してもよろしいと思つてゐる。來春からは專屬のゲーム取りも雇入れたい。之等の設備は皆會員各位の利用價値の多少に懸つてゐる。奮つて來てそして突いて頂きたい。ゲーム代は一回五錢です。

圍碁部報

當俱樂部に圍碁部の有ることは會員諸君先刻御承知の筈であります。然も俱樂部員の中には、相當の棋力を有して居らるゝ方、又所謂自稱天狗の方々、將た又策の尊稱を脱し居られざる御連中も多々お有りですが、斯く申す某も御他聞に洩れませんが、折角多年練磨せられ、而も君子の清戯に趣味を持たれ乍ら、入部せられて更に御研鑽御熱達の域に入らんとの御考へを、お懐きにならざるには、何か御理由が有はしませんか。現メンバーが揃ひも揃つて相當の級位の者許りと思はれて、尻込みなされて居られる爲ではありませんでせうか、然らずば、入部にいろく、やゝこしい條件でも有るの

じやないかなどと御考への爲ではないでせうか。當部も日を逐うて隆盛に向ひつつある今日、些か其の創始時代からの経緯を、御披露に及んで、御勧誘の資とするのも敢へて無駄事でもないと思ひます。茲に秃筆を呵する次第であります。抑も、當部の濫觴と申しますのは、實亭から日本海上の二階（尤も此の頃碁盤も一面か二面有つたさうですが）更に大井肉店の隣りの、先輩岡田さん借家に、クラブを移した頃で確か昭和六年の暮頃かと承はりますが、山本、眞島、飯島、声澤外諸先輩の發案で、當時四段の細川千俣氏が師範に御依頼し、圍碁部が生れ、熊谷、川上、石川の諸君が勵志満々錦を削られたのが始めて、創設時は、碁盤も三面位でメンバーも少数乍ら仲々熱心でした。越へて七年には部員も十名を餘し八年には幹事會の決議を経て準會員制度も設け、碁には斷然勇躍學士クラブへ挑戦し此

をクラブルームに迎へ對抗棋戦を催したりしました。更に九年春俱樂部を元町ビルに移しその面目も一新してから、當部も一層充實、一面川上、山田、小玉三君の御勤で戰艦級を失ひましたが、他方



部棋將碁圍るむ極を盛殷

新人の入部月を追ふて増加し、勢に乗じ學士クラブに前年の恥を雪がんと、再度挑戦し見事復讐をなし、更に凌霜クラブに迄覇を唱へんと軍を進めましたが戦利あらず惨敗を蒙りました。

平常稽古日には部員争つて出席し碁盤も是足らざる程の活況を呈し剩つさへ細川師範は前年五段に御昇進、相變らず當部員の指導薫陶に力を致されて、特に當部の稽古日には神戸の生んだ棋界の鬼才木谷實六段の怪童丸時代を髣髴させる九歳の天才棋客鈴木圭三少年や十三歳の少女棋客中川照子嬢などを、差し寄せられ上級者との對局を時に批評せられ人氣を呼んで居ります。以上が當部史の概略であります。尙當部の規定とか顔觸はとの御質問も必然と思ひますので、一寸書き添へまして、擱筆することに致します。

- 一、會費 クラブ員一ヶ月金壹圓
 - 準會員 一ヶ月一圓五拾錢
 - (資格は會員の推薦による紳士五名迄、現在二名)
 - 一、稽古日 毎週火曜日午後六時
 - 一、師範 五段 細川千俣氏
 - 一、碁盤 六面
 - 一、現會員級位
 - 三級一名 三、四級一名
 - 四級一名 五級三名
 - 六級一名 七級三名
 - 八級一名 八、九級一名
 - 十一級三名 十二級三名
 - 十四級一名
- 尙部員の氏名消息に就きましては、他日「メンバーのプロファイル」とでも題し部報で御披露したいと思つて居ります。(青谷閑人)

麻雀部

麻雀は一時非常に流行したが、勝負としては仲々面白い興味の深

いものである、支那に發生して今や世界的の遊びとなつてゐる麻雀はやつて居てもそこに人生を教へてくれると思ふ。人生に於て一か八かやってみることが幾度か出遇ふことだろうが、麻雀は相手を探りつゝ一つやつてみるゝと云ふ度胸を育つてくれる。麻雀大いにやるべし、麻雀黨大いに集つて競争すべし、そして麻雀魂を社會に於て又應用すべし。現在俱樂部には麻雀臺が二つあります大いに利用してください。春秋に大會を開き、年に二回は他俱樂部と大試合をすることにやつて居ります。(寫眞参照)

ゴルフ部近況と

秋季競技大會

十一月十七日開催の豫定

本邦東西ゴルフ界に於ける三田勢の活躍振りは今更書立てる要もなき事乍ら實に目覺しきものである。



麻雀部の實況

元來當俱樂部員中にも多數の名プレーヤーが揃つて居たのであるがお互の親睦及び技術相互の研磨等には尙不備の點もあつたし、一方新進プレーヤーも日毎に増すばかりなので一つゴルフ部を設け一層合理的に腕を磨かうと云ふのでその呱呱の聲を揚げたのが去年秋である。

部歴僅か一年の當部ではあるが現在その仕事としてやつてゐることは第一に例のインドアの設備

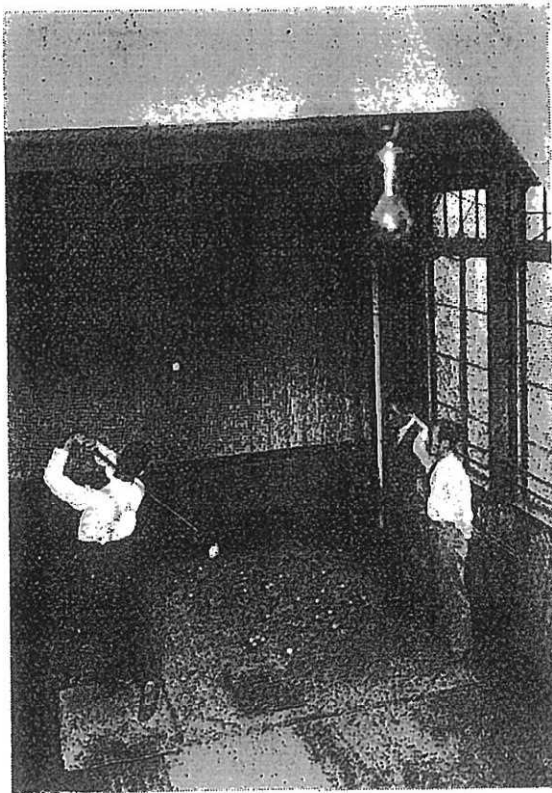
である靜で清潔で誰でも熱心に精進出来るコンフォートブルームで最近では專屬の脱衣洗面所さへ備えてある、次に先輩の好意的指導及び廣野の名コーチ柏木君の招聘等萬端到り盡せりである。

部員競技大會を春秋二回開催される事になつてゐるが賞品として岡崎幹事長の大カツプ其外數他の記念賞品が出る。第一回競技會は既報の通り廣野にて盛大に舉行された、又來る十一月十七日には第二回競技會が三田にて行はれる豫定であるが参加者は増倍の見込である。

御入會及びレツスは次の如くなつてゐる。

一、入會金 金五圓也

ゴルフ練習場實況



- 一、會費 一ヶ月壹圓也
- 一、レツスン料 ボール卅個 (十五分) 金卅錢
- 一、レツスン日 火、木、午後六時より九時迄

現在當ゴルフ部員は二十二名であるが春秋二回の競技會には隨時一般の参加を希望してゐる。

以上の如く同好者相集ひて此のゴルフ殿堂に腕を磨き時に亦、相誘ひてリンク上に技を競ふ、部員の得る所極めて多く、當俱樂部中最盛大にして充實してゐる部である。

來る十七日の第二回競技會開催に就てはリンクとの交渉その他確定次第揭示にて通知する豫定になつてゐる、寫眞は最近のインドアの狀景である。

庭球部近況

當俱樂部の庭球部は創設未だ日淺けれども只今部員は整備の庭球選手を初め十數人あり。日曜日毎に須磨の山田啓吾君のコートに拜借して專屬コートとなし和氣霽々練習をしてゐる。

昨年は大阪朝日新聞社主催のクラブトーナメントのAクラスに出場して非常なる成績を挙げたのである。去春季大會にて會員の親睦を圖り、島田運動具店より夥しき賞品寄贈ありたり。此際是非御入會を歓迎いたします。

現在會員の主なるもの左の如し

- 松岡 潤吉
- 伊澤 正義
- 大矢 敏次郎
- 稲葉 稔
- 鹽谷 英敏
- 杉原 連治
- 石黒 駿吉
- 岡崎 眞一
- 御手洗 清眞
- 山田 啓吾
- 以上

スキースケート部

爽涼の秋となりました、とある朝ふと肌の薄寒さを覚える時私達の心は過ぎ去つた楽しい思い出に馳へるのです、それは輝かしい雪と永の日の事です、今年の雪ももう間近かにひそやかに迫つてゐます、今年も亦あの「美しい」「清淨無垢の天地」へ行き久々の語ひをあの

白樺の森に建つ粗朴な小舎に呼びかけやうではありませんか。

豫定の計畫は次の通りであります。一、白馬遠見小屋遠征 期間は年末年始の休み一週の豫定です此小屋は唯今建設中で人も餘り知りませんが混雑せず然も鐵道より近く(四キロ餘)であるから便利だと思ひます。靜かに冬の間を樂しもうでわありませんか。加の方々は是非アイゼンを御用意下さい。

二、但馬遠征 二月中に一度はやり度いと思つて居ります、之は毎年神鍋山へ行つて居たのを延長して蘇父妙見の方へ行き度いと思つて居ます。

三、六甲スケート場行き 一月第一日曜より三月一ぱい毎日曜スケートに行くのです毎年有志四五名は必ず實行して居りましたが打合せ其他が充分でなかつた爲切角行つてもばらばらになつて面白くありませんでしたから本年は統一して行先時間等を打合せて一大山上大會にしようではありますんか何卒御家族御同伴にて御参加下さい。

先づ以上の三案を挙げましたが尙他にも素晴らしい案が出る事と思ひますからシーズン中は俱樂部に御聞き合せを御願ひします。

社交ダンス研究会

社交ダンスは現代は勿論將來に於て社交上無くしてはならぬ第一要素である。踊ることは自然に起る美しい本能です、社會に出たら

ばよく働きよく遊ぶことです、ダンスの心得は是非一通りあつていゝと思ひます。當俱樂部では十月より左記の通り研究会を開始して居ります、教師は當代稀れに見る上手な方ですこの際どしどし入會されたい。

三ヶ月速成料 三ヶ月の間 にダンスの基本 ステップよりワ ルツ、クキツク、ブルーツ及びタンゴをすつかり踊れるやうに親切 丁寧に教授します。

研究科——既にダンスに経験のある方で各種のステップをよりよく、踊り、ルンバ、バンドブル、スローステップ等高級のダンスを研究する。小山先生獨特の教授にてすぐすばらしく上手になります。

毎金曜日午後六時 於當俱樂部 會費 三ヶ月速成科月五圓也 研究科 五回=付五圓也 實塚會館顧問 關西舞踏審査員 モダンウォールサス幹事 小山賢之助氏

教師 於當俱樂部 會費 三ヶ月速成科月五圓也 研究科 五回=付五圓也 實塚會館顧問 關西舞踏審査員 モダンウォールサス幹事 小山賢之助氏



社交ダンス定期研究会の状況

月例会

月例会とは月々各方面の名士、學者、研究家を招聘して講演會、座談會を開催して、一般會員の集會にして百般の新知識を得、且つ會員の親交を圖る例會である。月に一回又は二回開催するのであるが、常に非常に盛會で百名前後の多數の集りがある。近來は益々内

助手 モダンウォールサス幹事 須藤 民雄氏

庭球部近況

當俱樂部の庭球部は創設未だ日淺けれども只今部員は整備の庭球選手を初め十數人あり。日曜日毎に須磨の山田啓吾君のコートに拜借して專屬コートとなし和氣霽々練習をしてゐる。

昨年は大阪朝日新聞社主催のクラブトーナメントのAクラスに出場して非常なる成績を挙げたのである。去春季大會にて會員の親睦を圖り、島田運動具店より夥しき賞品寄贈ありたり。此際是非御入會を歓迎いたします。

現在會員の主なるもの左の如し

- 松岡 潤吉
- 伊澤 正義
- 大矢 敏次郎
- 稲葉 稔
- 鹽谷 英敏
- 杉原 連治
- 石黒 駿吉
- 岡崎 眞一
- 御手洗 清眞
- 山田 啓吾
- 以上

スキースケート部

爽涼の秋となりました、とある朝ふと肌の薄寒さを覚える時私達の心は過ぎ去つた楽しい思い出に馳へるのです、それは輝かしい雪と永の日の事です、今年の雪ももう間近かにひそやかに迫つてゐます、今年も亦あの「美しい」「清淨無垢の天地」へ行き久々の語ひをあの

白樺の森に建つ粗朴な小舎に呼びかけやうではありませんか。

豫定の計畫は次の通りであります。一、白馬遠見小屋遠征 期間は年末年始の休み一週の豫定です此小屋は唯今建設中で人も餘り知りませんが混雑せず然も鐵道より近く(四キロ餘)であるから便利だと思ひます。靜かに冬の山を樂しもうでわありませんか。加の方々は是非アイゼンを御用意下さい。

二、但馬遠征

二月中に一度はやり度いと思つて居ります、之は毎年神鍋山へ行つて居たのを延長して蘇父妙見の方へ行き度いと思つて居ます。

三、六甲スケート場行き

一月第一日曜より三月一ぱい毎日曜スケートに行くのです毎年有志四五名は必ず實行して居りましたが打合せ其他が充分でなかつた爲切角行つてもばらばらになつて面白くありませんでしたから本年は統一して行先時間等を打合せて一大山上大會にしようではありませんか何卒御家族御同伴にて御参加下さい。

先づ以上の三案を挙げましたが尙他にも素晴らしい案が出る事と思ひますからシーズン中は俱樂部に御聞き合せを御願ひします。

社交ダンス研究会

社交ダンスは現代は勿論將來に於て社交上無くしてはならぬ第一要素である。踊ることは自然に起る美しい本能です、社會に出たら

ばよく働きよく遊ぶことです、ダンスの心得は是非一通りあつていゝと思ひます。當俱樂部では十月より左記の通り研究会を開始して居ります、教師は當代稀れに見る上手な方ですこの際どしどし入會されたい。

三ヶ月速成料

三ヶ月の間ダンスの基本ステップよりワルツ、クキツク、ブルーツ及びタンゴをすつかり踊れるやうに親切丁寧に教授します。

研究科

研究科——既にダンスに経験のある方で各種のステップをよりよく、踊り、ルンバ、バンドブル、スローステップ等高級のダンスを研究する。小山先生獨特の教授にてすぐすばらしく上手になります。毎金曜日午後六時 於當俱樂部

會費

三ヶ月速成科月五圓也 研究科 五圓=付五圓也 實塚會館顧問 關西舞踏審査員 モダンウォールサス幹事 小山賢之助氏



社交ダンス定期研究会の状況

月例会

月例会とは月々各方面の名士、學者、研究家を招聘して講演會、座談會を開催して、一般會員の集會にして百般の新知識を得、且つ會員の親交を圖る例會である。月に一回又は二回開催するのであるが、常に非常に盛會で百名前後の多數の集りがある。近來は益々内

助手 モダンウォールサス幹事 須藤 民雄氏

大矢敏次郎君	二〇口
小會根眞造君	二〇口
渡邊鐵太郎君	二〇口
柿澤 重長君	二〇口
景山鐵太郎君	二〇口
河村 忠彦君	二〇口
金子 忠雄君	二〇口
田中 敏夫君	二〇口
田井 董君	二〇口
津田 信吾君	二〇口
中島 剛太君	二〇口
中川 幸次君	二〇口
上柳 昇平君	二〇口
倉知 四郎君	二〇口
山口八左右君	二〇口
山田 良君	二〇口
山下 毅一君	二〇口
山路 末三君	二〇口
八尋 專一君	二〇口
八木 幸吉君	二〇口
谷井 保君	二〇口
安原 仙三君	二〇口
山下 三郎君	二〇口
柳 滿珠雄君	二〇口
眞島 宮雄君	二〇口
牧野 亮吉君	二〇口
牧野 元君	二〇口
増田 幸雄君	二〇口
分銅 昌雄君	二〇口
小林 禎太郎君	二〇口
淺田 靖彦君	二〇口
芦澤 雄治君	二〇口
佐本 源君	二〇口
櫻井 愛二君	二〇口
澤田 隆藏君	二〇口
袖久保虎市君	二〇口
三宅 郷太君	二〇口
宮崎垣三郎君	二〇口

森 忠雄君 三口
 關谷 力君 二口
 末正久左衛門君 一〇口
 計五十二名 一二三口

年度會に就て

當俱樂部に於て各年度會が極めて振はないのはどうしたことであらうか。右年度卒業生の人數が少ないのが其一つの原因ではあらうけれど。説明するまでもないが年度會とは各年度卒業した俱樂部會員が相集る會合である、この會は恐らく各會合を通じて一番水入らずで、遠慮も入らず、氣象も無くざつとばらんで凡てを語ることが出来る最も愉快な會である筈である。肝膽相照らすのもこの會合の特色である、いきり立つて議論しても其場限りで後腐れの無いのもこの會、凡てに於て何時までも相親み相助け「ゆくの」ものこのクラスメートである。歳月を経て尚學生時代を偲び、その雰圍氣に浸り得るのもこの會である。されば今後は非もつとこの年度會をどしどし盛にやつてもらいたい、よし二人でも三人でもいゝ、數の多少は問題でない、大切なるは友情である。相互扶助を以て勵み合ふ精神である。

新會員募集

當俱樂部の沿革現狀は上述の如くであるが、理想としては熱員の全部が會員であることが最も望ましいことである。會を維持してゆ

く上に於ても若し會員が現在の倍以上に増加すれば各員の負擔が極めて輕くなつて、會費が一ヶ月五拾錢位で充分やつてゆくことが出来るであらう。そして新熱員も容易に入會が出来て、自然年毎に新

支那料理の御宴會

本店 瀧道 山手 別荘

東 天 紅
 春 風 園

本店 電話三七一六番 別荘 電話一〇九三番

會員の増加を示すことになる。これは理想であつて目下のところ、現幹事は現在の會員數約三百名に新たに約百名を増加したいと努力してゐるのであるがこれも仲々容易でないが、百名増加すると現在の會費を圓圓に引下げ得る可能性

が充分ある。即ち會員を百名増加したいと云ふのは、現在の會費をどうかせて圓圓にしたいと考へてゐるからである。俱樂部の會費に月々圓圓五拾錢は仲々安くはない。まして新たに社會に出て仲々物入りの時に月給から圓圓五拾錢を差引かれるのは少し痛いことである。これも俱樂部を愛し、俱樂部の爲めと思つて出されてゐる方には洵に難有く感謝する次第であるが、常に多忙のためや、地理的關係で餘り利用出来ない方には少し利用價值が高過ぎると云ふことになる。然しこれが月に一圓となると餘程考へが異つてくる、利用價值を云々しなくとも同窓の俱樂部のためだ、義務だ、吾等の俱樂部の一つ位の設立のためには少し位は苦痛ならぬから喜捨する氣になる。そして俱樂部は益々盛大になつて、社會的に一勢力となり同窓の前途を力あるものとすることが出来るであらう。

當俱樂部は如此状態にあるので幹事一同は大いに新會員の勧誘に努力をして居りますが、幹事のみでは其實を擧げるに困難なれば、幹事を御援助くださる意味で、又愛塾の御精神は引いては愛俱樂部として是非友人及知人の御入會を御勧誘くださる様に御願ひします。又今日迄其機會の無くして御入會なさらなかつた方は、進んで御申込を御願ひする次第である。

會計狀態に就て

當俱樂部の會計狀態は健全であります。收支バランスがとれて、上期下期を通じて黒字で、少しの繰越を見る有様であるがそれも極めて少く、節約をしてやつと收支してゐるのであります。これも會員が増加すればもつと樂になり、設備も充分に参ると思つて居ります。赤字にして寄附を仰ぐやうな不健全なやり方は致して居りません、又致すべきではないので、この點は御安心ください。然し餘剰

俱樂部ライフ

岡崎 忠雄

私は先達大阪俱樂部に付きまして、手洗から出ると、ボーイが来て何方ですかと聞く、岡崎だと對へたもの、何んだか疑はれた様で嫌な氣持がした。考へて見れば受附の書記にしても又ボーイにしても、時偶にしか往かない社員に見知が薄いのでは當然で、従つて一應姓名を聞いて見るのは彼等としては職務に忠實なる所以で、吾々其社員としては寧ろ感謝す可きであるが、ソノは凡人の淺聞しさ、其隙間は決してヨイ氣持はしないものである。私の此種の経験は獨り大阪俱樂部のみではない、交詢社に往つてもヨク出會すのである。此感じはツイ、其俱樂部から足を遠退かせる。

のある方で喜捨してくださる方があれば幸甚の至りであります。昭和十年上半年會計報告書は前時報(第二十號)に詳細に掲載されて居りますから御覽ください。

慶應義塾神戸同窓會委員

(順序不同)

- 會長 岡崎 忠雄
受附委員 増田 幸雄
尾崎 爲一
石黒 敬修
大矢 敏次郎

俱樂部ライフのヨイ處は、久彌

を叙する事もあろうし、意見の交換もあろうし、智識の啓蒙もあるし、單獨で出来ない設備を多數の力を得てし、依つて以て餘技を樂しむ得ることもあろうし、其他種々の事もあろうが、要は出来るだけ多數の人々が其場所に入出入する事にある。ツマリ俱樂部の盛衰は利用者の多數なるや否やに懸るソコで幹事の骨折が大したものでも如何にして多人數の集合を招來するかと色々な考案をして、部員の興味を喚ぶ様な催をする。恰も百貨店が種々の催物をして街頭の人を吸引する様に……

俱樂部は幹事の俱樂部に非ずして俱樂部員相互の俱樂部なのだから、ソノな心に配しなくとも、唯俱樂部内を整頓し、清潔にし、俱樂部員が氣持よく往ける様にすればヨサ相なものであるが、中々ソノ

接待委員

- 濱田 精一
安原 仙三
杉原 連治
竹内 勝太
島崎 貴男
増田 幸雄
石黒 敬修
芳永 保太郎
大矢 敏次郎
多木 麟太郎
杉原 連治
山崎 三郎
岡崎 眞一
佐本 源一

ウは行かない事は前述の如く事實である。

私は神戸慶應俱樂部の幹事諸君が毎週火曜日必ず相寄つて、常に俱樂部の充實活動の爲め協議されつゝある其熱心を承知して、切に感謝して居るのである。會員各位は何卒此等若き幹事の苦勞を察して、出来るだけ俱樂部にお出懸け下さる様お願したい。度重ればソコに又親味も出来る。此稿の初めに私が述べた様な不愉快は、俱樂部に對する疎遠の結果であるのみだ。

今迄もソウであるが、是れから先は段々と個人的生活よりも社会的生活と言ふことに重大な意義を有する様になりつゝあるのであるから、其基調としての俱樂部生活は重大性を増すことは言を俟たない。同窓の俱樂部を持たないとするればソレは如何に淋しい事であらうか。

- 關谷 力
丹波 一彦
田井 重
摸擬店委員 柳澤 重長
富安 昌作
餘興委員 柚久 保虎市
大矢 敏次郎
杉原 連治

運動會委員

- 生田 治
橋本 清治
田中 敏夫
石黒 駿吉
原 龍三
御手洗 清眞
岡 虎雄
足立 忠二郎

會計委員

- 濱田 精一
竹内 勝太郎
島崎 貴男
救護班委員 淺田 靖彦
河野 健次郎
アナウンサー委員 鈴木 六郎
安原 仙三
樂燒 係
尾崎 爲一
柿澤 重長

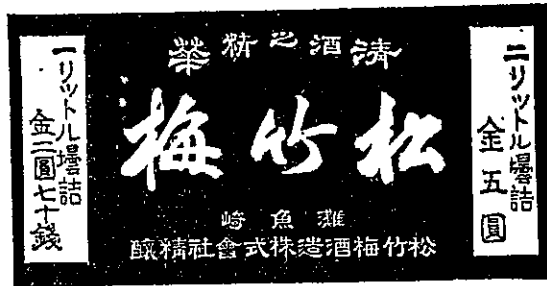
先生を知るまで

南 榮太郎

藝を記念する會合の行はれる度に私は何を指しても我等の祖師福澤諭吉先生の遺徳を偲ばずに居ら

れません先生に對する私の信仰の動機が幾分其趣を異にして居る様に思ひます故之れを語ります。在塾當時私は一般同級生より四、五才年長であつたのですが何故に斯様の事になつたかと申しますと先生を誤解して居つたからです。然らば何故に先生を誤解したか其れは私が神戸の湊川校と云ふ高等小學校に通學して居る時分高等三年生になると英語の學習が課せられたのですが馴れぬ文字ゆへ中々むづかしく皆が弱りかけたのです。今思ふと此教師は小學生を教へて居つた人であつたが中々識見のあつたところが分るのです。之れではいかぬ折角教へかけたことを止めねばならぬ、そこで獎勵の良策を考へ出し一時間の學習時間を三十分位に切りあげるとは生徒が興味を持つ喜びをそなへて語り聞かすことにしたので、彼のロビンソン漂流記、矢野龍溪氏浮城物語などを話してくれました。其れが面白いので一同は一生懸命勉強して課せられた英語をすまじ物語りの時間をよやすことに努めたのですが、或る日此教師がいつもと違がつて先生の楠公權助論を語り出したのです。大分くわしく立論の主旨を解いて居つた様でしたが子供には難解で大分ガヤガヤ云ふものが出來靜かに聞いて居つてもわからぬの荷の過ぎた話は了解の出來る筈なく茫然たるのみと云ふ有様でした。之れ迄楠公精神を吹込まれた私共は楠公に對する尊敬と親みとで楠公權助論の主旨も何も分らずに誤解

をなし其非禮をとがめ先生を俗に云ふ毛ギライするに至つたのです。茲に楠公に對する親みと云ふ言葉に一寸説きたいのであります。其當時の楠公社内は今の湊川新開地に比すべき神戸の歡樂地で表門の入口に店舖上に大傘をさしかけたる關東だき屋があり門を這入つてすぐ其裏に不潔極まるはゞかりあり種々様々の娛樂設備あり飲食店



露店など幼稚であるが當時の大衆を慰むるに充分であつた様に思はれます。私は小使をもらへば學校の近くでもあり又住居の近くでありましたのでよく遊びに参りました。親みの度を加へたのです。斯様な關係から楠公を一寸でも妙に云ふと反抗する氣になつたのです。斯様な氣持で十年あまりを過し明治

三十四年一月はじめて在京學友により業を啓かれ先生の著述を拜讀して身の迂濶を嘆じたのですが明治三十四年四月塾の大學豫科に入りたる爲二月に先生はおかくれになり少しのことまに合はず御在世中いくらもお目にかゝれる機会ありたるに小學當時の英語教師の説明の徹底せざりしたため先生を誤解して三田入塾の時機おくれ畢生の大偉人の警咳に接し得ざりしを悲しく思ひますが先生には多くの著述があり百世の師たる高學の徳風を追慕し感慨無量悲喜交々至るの感に迫られて秃筆をつゞけたくなります。

實業教育の振興策研究

山口 八左右

前年來文部省に於て實業教育振興方策に關し種々研究調査をなし其進行を促進するため今般同省内實業教育振興委員會より全國産業團體聯合會長へ諮問し會長より同會役員へ其意見を徴し又全國商工會議所へも其所見を求めたることは新聞紙に記載せられたる通りなり、私も産業團體聯合會の關西委員の一人たる關係に依り同會長より意見を申出づべき様通知を受けたり其諮問事項は左に列記する通りなり。

一、産業ノ現勢及將來ニ鑑ミ現下ノ學校教育ニ依ル實業教育ノ改

善並ニ其ノ運用ノ方策如何但シ學校教育ニ依ル實業教育ノ範圍ハ大體左ノ如シ
甲 低度實業教育
大體乙種實業學校（尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限三年又ハ二年）以下ノ實業教育機關ニシテ青年學校及低度各種學校等ヲ包括

特約店設置に就て

會員の非常なる特點にして、元町を中心とする各専門第一流店に特約店を設けて五分乃至一割の割引をなす、各會員は會員割引證を示して直ちに割合をさるゝものであるから、常に特約店を利用する方は會費が唯になり非常なる恩典を得ることになります。特約店は左の通り、大いに御利用ください。

- 島田 運動具店
- 川瀬 三宮分店
- サイキ 西洋食器具店
- 千代田 婦人帽子店
- 美津 濃運動具店
- ヤタナカオ 和洋雜貨商店
- 赤壁 商店
- 帝國蠶糸會社神戸販賣所
- キリンヤシヤツ本店
- 青木 靴店
- メグリ 婦人子供洋服店
- 門坂屋 洋傘肩掛店
- コンサートン 電機商會
- 伊坂 牧農園
- アルツ 藥局
- 松竹 座（交渉中）

- ス (イ) 農業、蠶業、林業、水産業等ニ關スル教育
- (ロ) 工業(工藝ヲ含ム)鑛業等ニ關スル教育
- (ハ) 商業、商船等ニ關スル教育
- 乙 中等實業教育
- 大體甲種實業學校(尋常小學)卒業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限五年若ハ高等小學卒業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限三年)及之ニ匹敵スル各種學校
- (イ) 農業、蠶業、林業、水産業等ノ教育
- (ロ) 工業(工藝ヲ含ム)鑛業等ノ教育
- (ハ) 商業、商船等ノ教育
- 丙 實業專門教育
- 大體實業專門學校(甲種實業學校)卒業程度乃至高等女學校四年修業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限三年)又ハ之ニ匹敵スル各種學校
- (イ) 農業、蠶業、林業、水産業等ノ教育
- (ロ) 工業(工藝ヲ含ム)鑛業等ノ教育
- (ハ) 商業、商船等ノ教育
- 丁 大學教育
- 二、産業ノ現勢及將來ニ鑑ミ現下ノ學校教育ニ依ラザル實業教育振興ノ方策如何
- 但シ現下ノ學校教育ニ依ラザル實業教育施設ハ大體左ノ如シ
- 甲 農山漁村ニ於ケル特殊教育機關
- (一) 村塾教育等

(二) 公共團體(地方自治體、帝國農會、産業組合、水産會其他)等ノ施設スル教育

乙 都市又ハ商工鑛業地帯ニ於ケル特殊教育機關

(一) 官廳及公共團體ノ施設スル教育

(二) 企業者ノ施設スル會社工場ニ於ケル實務者教育

(三) 同業組合労働團體等ノ施設スル教育

三、實業教育ヲ振興センガ爲ニ産業界及産業團體ト教育機關ノ緊密ナル協力ヲ必要トスト信ゼラルルガ其ノ連繫ノ方法如何

以上

吾々實業に従事する者も亦贊同して出來るだけ協力すべきであると思ふ。

私は本年二月十九日神戸市に於て文部省の主催で開催されたる職業指導研究協議會に於て講演したるところの内前記問題に觸れたるもの種々あり其中

一、學校の教育年限を短縮して可成早く實業に従事せしむる事

一、暑中休暇は之を全廢する事等は重要なる調査事項なるべしと信ず實業に従事し居らるる諸君の研究を望むと同時に若し福澤先生が御在世ならば此問題に對して如何なる制案を提出せらるるかを考ふるは洵に興味あることと思ふ。

劔牛兩大學 ボートレース 三宅 郷太

雀は百まで踊をやめぬとか、それは天性だからであらう、私のスポーツに於けるは似て非なるものだが、眞から好きなのである、好きだから何んでもやる、塾にいたころは柔道大弓水泳登山野球角力ランニング、ボートと凡そ友人の誰かどやれば屹度仲間入りしたものだ、それでいて少しも得意のものがない、好きこそ上手と云ふが餘りに多過ぎて一貫する暇が無いのだ、それでもメダルを取つて褒められた事位はある、今は競技するほどの勇氣はないが、昔取つた杵柄と云ふやつで、見物には大々的に興を呼ぶ。

去年倫敦に居て冬の濃霧がやつと失せ春めき初めた三月中旬、オックスフォードとケンブリッジのボートレースがあると云ふ、萬障を差し繰つて見ざるを得ぬ、處へ松山商務參事官から見に行かぬかとの誘引だ、得たり賢しと同僚五人、外に現に牛津大學在學の若き一候補と共に、松山氏の東道でパトニー橋畔に自動車を棄て、人込みを押し分け、チームスの河岸に立つ、競争に因む選手連の寫眞繪端書術具類の大道店が澤山ある面白のはキニビーの裸人形にライトブルー(牛津)、ダークブルー(劔橋)の兵子帯を付けた、セルロ

イド人形店だ、人形はどれもメイドインジャパンらしい、大中小お好み次第一志か二志で買ひ、各自の襟へピンでぶら下げるのである、襟の人形で牛津か劔橋か其人々の最負が知れる、それを知らせるために態々胸間に人形をぶらぶかせるので私等は早速ライトブルーの仲間入りしたものだ。

松山氏の心つくしで手に入れた切符に依て小舟で、川の申流に乗り出し、碇泊してをる見物用のランチに乗り込む、此ランチは競漕が初まるとボートレースの進むについで、下手から見物しながら川を上るので甲板上に七八十人が詰詰となつてをる、川の兩岸の雑踏は云ふに及ばず、川沿ひの家は窓にもベランダにも人の顔が堆高いるのだが、此處では手摺や家根に旗を引廻はしすばらしい景氣だ、先づ腹ごしらへと云ふので携帶のサンドウキツチや菓子類を頼張つて時の至るを待つた。

甲板の見物人の中に古びた競漕用のキヤップを被つたのが、ちらほら見へる隣りのランチにも居るが何れも皆老人で若いのは少い、謂れを聞くとそれは皆少なくも一度は此競漕に出て、勝敗を争つた老選手なのだ、其キヤップは其時に被つた記念物で、幾年も大切に保存し、毎年之を一着に及んで此競漕を見物し、思出を樂しむのだ、色が褪せて古臭いも道理こそ中には父子共に着用してをるの

や三代が揃つて被てをるのも勝にある、父子孫同輩は英人氣質を語るものであるが、皺を深く刻んだ顔の上に學生時代のキャツプが乗つてゐるのは、穢氣慢々で面白い。

午後二時下流バトニー橋の上手で歡聲が起る、レースのスタートを切つたのだ、やがて我等のランチの前を漕ぎ上る、ライトブルーが右ダークブルーが左のコースだ、ライトブルーの勢がよい、今年も牛津も仲々やるらしいぞの囁が聞へる、松山氏は昔の二ツ橋の選手で、滯英拾幾年中毎年此レースの見物を欠ぐことなしと云ふ熱心家だ、「三宅さん一つ漕ぎたくはないですか」同感々々「腕が鳴つてますね」工候節は牛津でコックスをやつてをるが、體重が聊か重いので、對校レースに出る資格が得られぬと残念がる。

我等のランチはもうレースを逐ふて、づんづん上る兩岸から次々く、に歡聲が起る、オヤ、牛津の形勢稍衰へを見せる、劍橋の方はオールが水面に低く揃つて一直線に切る、ピッチが速い、之に反し牛津の方はオールが高上りで稍亂れ氣味だ、これはいけないと思ふ、然し各固有のスタイルで變へないのだと聞かされる、ハムマアミス橋を過ぎ、川のカーブせる二哩の半航程で、牛津は已に二艇身も遅れた、少し風が出て外側のコースの牛津には一層の不利となつた、萬事休す、四哩の航程を過ぎ、チスウキクのウキンニングポストに入つたときは、四艇身

四分の一と云ふ大差であつた、タイムは十八分三秒、これで牛津は十一回の負け續けだ、それでも競漕が初まつた以來八十幾年間の勝敗を累計すると、五角に近いことになつてゐるさうである。

感想 二つ

(一) 山本 流

きのふ西下せる某名士現今の歐洲を覽瞻えて伊太利は道樂息子、英吉利は嚴格なる親爺で、佛蘭西は慈悲に満ちたる母親だ、是れを詳しく言へば、道樂息子の伊太利は亞弗利加で現を抜かして大散財をして居る、之れを止めしめる爲に打擲せんと右手を高く揚げて地中海に迄大艦隊を進出せしめたが慈悲に満ちたる母親の佛蘭西はアマアと夫の手に纏つて道樂息子を庇つて居る、息子は親爺の腹の底を見抜いて到底打つ事が出来ぬと知つて居るので益々良い氣に成つて何時でも家(聯盟)を出て行くと勝手氣儘な振舞をして居る。知らぬが佛で日本では一觸激發など言つて世界戦争の再現を期し香水の風呂、酒の泉、藝者を金魚に仕立て、浮れ歩く大盃遊びを夢みて居るが、獨り相撲に汗を流す様なもので此れ程馬鹿げた事は無いと。蓋し金言

(二)

某醫博曰く百圓の收入ある者が一日拾圓の生活をすれば十日の生活しか出来ないが、一日壹圓の生活すれば一ヶ月を支へて尙七拾圓の貯金が出来、一日拾圓の生活を

すれば、一ヶ月の收入で三年の生活が安定する、安い生活は健康が保てまいと心配する者があるが、醫學上の立場からは安ければ安い程健康は増大するのに驚澤な者は人間に絶対必要な空氣に、ニコチンと言ふ毒ガスを仕入れて吸ひ冬は贅澤に石炭を焼いて室内の空氣を不潔にして全く熱帯地方の生活をして居る、又人類に必要な飲み物でも井戸の水さへ飲んで居れば費用が掛らぬのに人間はいろいろ金を掛けて、お茶コーヒをいれる、お茶コーヒにはアルカロイドと言ふ毒素が入つて居る、更に甚だしいのになると只の水を酒にして飲む若し日本人が酒を止めたら病氣は大半無くなるであらうと世は非常時だ飲まず食はずに生きて行ける様に醫學が發達したら百圓の收入の者は百圓の貯金が出来るとのに。(十月廿六日夜)

感想

關谷 力

岡崎氏邸でのクラブ園遊會はこれ二回目である。前回は一昨年の五月上旬、百花新緑に映ゆる好季節であつた。今度は秋色をたけはにして織なす錦繡の美に彩られる十一月三日の嘉日である。初夏と晩秋、何れ劣らぬ一年中の好季節。人から春が良いか秋が好きかと尋ねられれば、さて何れを何れとも定めかねるのであるが、私に取つて、少くも思ひ出の點で秋の方により親しみが深い。

私等の子供の時は十一月三日は

天長節でありました、私は今でも此子供の時の天長節を忘れることが出来ない、身も心も引締まるようなすがすがしい秋晴の朝。新しい木綿の筒袖に小倉袴、折目のついた紺の香りのするようなのを着せられて——其頃は洋服など着てゐる子供は殆んど無かつた——小學校の式に臨むのだが、いつも歸りには學校から紀念の御菓子二個を貰つて来た、其御菓子が、とてもうれしく自慢らしく家人に分けてやつたりしたものだ、學校への往復には數多の文武百官が目も覺むるばかりの大禮服に身を固め、威風凜々として人力車を走らせてゐるのに幾度となく目をみはるのであつた。あゝ懐しき幼時の思ひ出よ。

稍長じて、深く残る秋の印象の一に慶早野球戰の高潮がある。往年の慶早野球戰の中止と云ふ劇的イブエントは私等の豫科一年の時であつた。其秋のシーズンは慶早二戰で一勝一敗となり愈々決戦が網町グラウンドで行はれることとなつた。時は十一月の初め、決戦の日近づくにつれ殆んど全校を擧げて興奮のつぼに投込まれ私共は愈々試合の前日特別應援隊といふ様な役目を申付かり、夜を徹して學校に預張り、早朝グラウンドにつめかけ以て優勢な地の利を占め一大應援戰を開始せんと大した事になつたが、兩校當局は彼我應援團の緊張に危惧の念を生じたものでせう遂に試合は中止と云ふ事になつた。其時の光景は悲壯とも

云ふべきものであつた。私共は徹夜だと云ふので秋霜烈日の夜、體が冷たてはならぬと何物かのツヤツを着込み殆んど異様な姿で出掛けたものである。今でも其時の氣持を忘れる事は出来ない。あゝ懐しき思ひ出よ！ それにしても今年の慶早野球はどうなるのか。

俱樂部競技とファイテング、スピリット

B・R・O

我が大先輩にして鐘淵紡績王國の大元帥津田氏の「ファイテング、スピリット」は既に衆知のところであるが、この語は常に氏の口を以て出て来る言葉である、ファイテング精神が津田氏が津田氏がファイテングスピリットかと思はせしむるが、氏がこの精神よく努力奮闘されて、武藤大偉人の後を繼ぎて益々鐘紡を大ならしめたのであらう。我等は津田氏にならひて「ファイテング、スピリット」で行きたく時にこの語を口にすると多きは洵に喜ぶべし、近頃慶應マンはハイカラだが柔弱である、紳士であるが、氣骨なし、右の頬をうたれてそれなり引さがる者が多い、相手をひつぱたくかそれになければ一層勇氣を出して左の頬を出して、相手の行爲の善悪を強行になじるか位はしてもいと思ふ。相手が戦端を開いたらばあくまで戦ふ度胸が有つてほし

い、然しそれにはやつぱり、日常に於て互に「ファイテング」を涵養することが肝要である、俱樂部に於て、勝敗を決するが如きゲームは殆んど行はれてゐない、盛んなのは團碁位のものである、餘り御上品すぎるのであらう。殿方は勝負はキライである。然し社會に出るとそれは極めて激しい競争が行はれてゐる、會社に於て銀行に於て、我等はこゝでは一步も退かぬ、こゝで戦ひぬく、勝利者とならねばならぬ。何たる難關ぞ、矛盾ぞ。世には個人としての競争がある、國としての競争がある、食ふか食はれるか、天國の如き平和は望まれぬ、一つの理想であるそれには幾千年かがたかる。それまでにこの現實の競争に戦はねばならぬ、戦へば勝つことが必要である、野球では巧者なマネは何の足しにもならぬ、奮戦して先づ勝つにある、舞臺で見得を切るのとは譯が違ふ。銀行や會社で見得を切つても駄目である、お人よしでも駄目である、生活苦を嘗めても戦つて、最後に勝ちたい、これあるのみである。我等はこの精神をどこかで學び、訓練をえたい、先づ俱樂部で何かの勝負でそのスポーツの精神を發揮しつゝ、「ファイテングスピリット」を養つて共に社會の強者となり、社會の勝者となりたう。偉人は努力奮闘の士であり、武藤氏然り、津田氏然り、然して津田氏にこの言あり。我等は義塾傳來の精神は溢るゝ程あり、然して何によらず我々相

互に戦ひの精神を涵養して、後日に備へたきものなり。

先輩の顔が見たい！

B・R・O

最近俱樂部には若い人の顔が非常に多いので大變に潑刺たる空氣が漲つてゐますが、先輩の方々がもつと大いに來て壯者を凌ぐほどの氣炎を見せてほしい、時々先輩を圍んで座談をしてみたい。又大先輩がよく見れば俱樂部が重きを加へ、後輩に利するところが多いと思ふ。一策として「明治會」と云つたものが作られて明治年代に卒業された方々が集つて昔を語つたり今を語つたりしたならば大變に面白い會が出来はしまいか。こうした會のある時は傍から見ても愉快に相違ない。それが必ず一つの指導的勢力になり、後進者の非常な獎勵になることであらう。先輩の顔を見たからと云つて直ぐ寄附を持ちかけるやうな非常識も致すまいし、會の會計も健全であればその必要もない。こうした俱樂部には洗練された無邪氣が漂つてゐると思ふ。老いた方も若い方も一様氣樂な雰圍氣が交又されて渾然たるものがほしい。先輩の顔が見えないのは淋しい、又若い者の顔が見えないのも新味を失ふ。兩者の融合をよりよく得たきものである。

義塾機械體操部 選手の歸朝

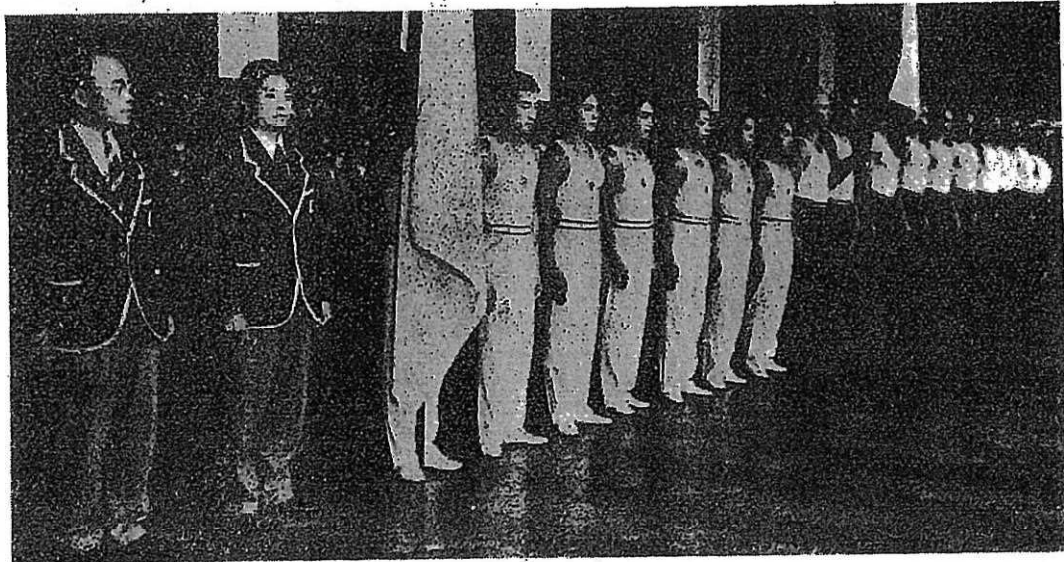
匈牙利のブタベストにて開催の第六回國際學生競技大會に出場のため去る六月廿七日神戸を出帆した、日本學生代表義塾機械體操部選手高橋監督以下八名は元氣一杯



機械體操選手歡迎午餐會於中央亭

にて十月十八日午前九時神戸に安着された。選手一同の競技大會に於ける奮闘は新聞電報にて御承知の通り、日本代表の名を辱かしめざる好成績を示し、又歸途各地に於ける演技會には優秀なる其技倆に觀者をして驚嘆せしめた。

上陸後當俱樂部に案内小憩後日本海上火災神戸支店長山本沈氏の御主催にて中、莖亭に於て歓迎午餐會が開催された當俱樂部よりは、大矢敏次郎氏、島崎俱樂部書記長出席、山本氏の歓迎の辭に次ぎ高橋監督選手一同を代表し謝辭並に経過報告あり、一同乾盃、宴後露臺にて記念撮影をなし、盛會裡に散會した、因に選手一同は大坂慶應俱樂部の歓迎晚餐會に出



(義發機械体操選手(チエツコ、スロバキヤ、ブラーグ)演技場入場式に)のチエツコ

席のため午後三時神戸を出發せられた。

(選手一同の神戸着時刻が十七日夕に判明のため御通知出來ざりしを附記す)

俱樂部會合

河村良彦氏送別有志午餐會

十月四日正午當俱樂部に於て、今般三菱銀行東京本店へ御榮轉の河村良彦君送別有志午餐會を開催増田、大矢兩君の送別の辭に次ぎ河村氏の答辭あり。一同同氏の益々御發展を祝福乾盃。宴後記念品



(河村良彦君送別有志午餐會)

贈呈記念撮影をなし散會。出席者左の如し(順序不同)

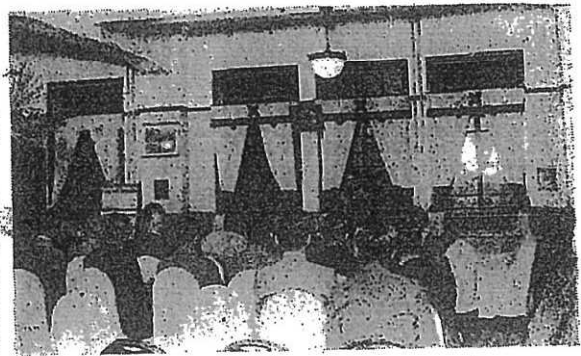
- 主賓 河村 良彦
- 芳永保太郎 杉原 連治
- 大矢敏次郎 石黒 敬修
- 鈴木 六郎 御手洗清真
- 増田 幸雄

十月々例会

十月々例会を十六日午後七時より開催したが今回はイスラム文化及イスラム教に關する講演會であつた。イスラームとはアラビア語で「神への奉仕服従」と云ふことで、其信徒をモスリムと稱す、普通マホメット教と云ひマホメットを其祖としコーラン(クルアーン)を經典とし偶像崇拜を極端に排斥し唯一眞神アラ(アラハ)への信仰を要諦とするのである。現在信徒は三億餘あり主として有色人種間に擴がり、トルコ、波斯、印度支那が主なるものである。我國に於て去十月十一日神戸山手にイスラム教の寺院が始めて建立されムスリム・モスクと稱され盛大なる祝賀會が催されたのである。我國が有色人種の指導者として、東洋の覇者として隆々強大となるの今日、その指導精神に必要なものとして、イスラム教が研究されて來たのは時代の要求であらう。

當俱樂部は左記の二氏を招して左の通りの演題により講演會を開催した。

エム・エヌ・トラバリー氏は當市に日印貿易をしてゐるトラバリー商會の主人で、印度ハイバラバツ



(十月々例会エム、エス、トラバリー氏の講演)

トの大學を卒業してフアジルの稱號を有し、イスラム文化に非常なる造詣を有してゐる人である。有賀阿馬士氏は明治二十五年に印度に行き以來三回渡印してその都度常にイスラム教を研究されて、日本に於ける初めての信仰者となり「日本イスラム協會」を設立されイスラム教を我國に普及することに努力されつゝあり。其演題はイスラム文化

エム、エス、トラバリー氏
日本の覇業とイスラム教
有賀阿馬士氏
當日出席者三十名。

會員動靜

轉居

- 柿澤 重長君
神戸市灘區徳井中の郷一四山下 三郎君
- 兵庫縣武庫郡精道村打出、久保八柳満 珠雄君
神戸市灘區青谷町一丁目一稻上 芳雄君
- 大阪府豊能郡豊中町新免六六七西川 米太郎君
神戸市灘區高羽常磐木四四

轉勤

- 桑野 福次君
三井物産會社團員支店
- 河村 良彦君
三菱銀行東本本店
- 松尾 綠郎君
三菱銀行品川支店

新俱樂部員紹介

- 青木 健三君(高等昭和八年)
勤先 鐘淵紡織株式會社營業部
(有吉正太郎君紹介)
- 春田 泰治君(經濟昭和四年)
勤先 三菱銀行三宮支店
(河村良彦君紹介)
- 梯 重由君(政治大正十一年)
勤先 明治火災保險株式會社神戸支店
住所 神戸市林田區長田町一丁目五
- (渡邊鐵太郎君紹介)
- 草野 信男君(經濟昭和十年)
勤先 鐘淵紡織株式會社營業部
(増田幸雄君紹介)

高木 朋平君(經濟大正十二年)
勤先 三井生命保險株式會社神戸支店

(富安昌作君紹介)
大和田彌一郎君(政治昭和九年)
勤先 日本砂鐵工業株式會社
(御手洗清眞君紹介)

古庄 五男君(經濟大正十二年)
勤先 神戸岡崎銀行大阪支店
住所 兵庫縣川邊郡團田村、森三三

大島 孝一君(經濟昭和十年)
勤先 株式會社岩井商店神戸支店
住所 神戸市灘區徳井中郷三八〇

石山 吉太郎君(理財大正八年)
勤先 鐘淵紡織株式會社營業部
住所 神戸市須磨區潮見臺町四丁目一〇
(増田幸雄君紹介)

寄贈圖書

- 一、神戸を中心とせる重要工業の鳥瞰 佐藤謙一殿寄贈
- 一、慶應義塾自動車部々報創刊號 發行所殿寄贈
- 一、三田學會雜誌 同
- 一、三田評論 同
- 一、慶應俱樂部會報 同
- 一、名古屋三田俱樂部會報 同
- 一、大阪慶應俱樂部會報 同
- 一、京都慶應俱樂部會報 同
- 一、神戸凌霜クラブ會報 同
- 一、神戸學士クラブ會報 同

- 一、三田廣告研究會々報 同
- 一、菊水 同
- 一、旅路 同
- 一、三田俳句 同

編輯後記

十一月三日の佳節に我が慶應義塾の神戸同窓會を兼ね大團遊會を幹事長岡崎さんのお邸で開催することになつて、當俱樂部時報も前月豫告號を發行し、今回主として俱樂部内容紹介の特別號を皆さんにお届けいたします。編輯係も同窓會の準備に忙殺されて蒼皇のうちにつくりましたので行届かねぬ御不満のところ多々あると思ひますどうか御寛容願ひます。實は小泉塾長に原稿を頂くことになつて居りましたが最近學務多端のため出來ないことで大變に残念でした。

然し幹事長岡崎さんを初め南さん山口さん山本さん三宅さん方の興味深々たる玉稿を得て本號を飾ることが出來て非常な喜びである。

當俱樂部の沿革現況の概略はもつと充實したものを書きたかつたのであるが時日なく大變に簡略となり不備のものとなりました。各部の設備内容に各部の幹事がよく要點を擷んで餘すところなく紹介出來てゐると思ふ。

次は團遊會記念特別號を發行したいと存じます、さし／＼御投稿をお願ひいたします。

11.83
Kobel
3-

店約特刊樂俱當

<p>サ イ キ 西洋 食器 具店</p> <p>神戸區元町二丁目 電話三三〇三〇番</p>	<p>川瀬日進堂分店</p> <p>神戸區元町二丁目 電話三三六四九番</p>	<p>川瀬日進堂本店</p> <p>神戸區元町二丁目 電話三三六四九番</p>	<p>島田運動具店</p> <p>神戸區元町二丁目 電話三三〇三七番</p>
<p>美津濃運動具店</p> <p>神戸區元町三丁目 電話三三〇三七番</p>	<p>青木靴店</p> <p>神戸區元町三丁目 電話三三〇三七番</p>	<p>アルツ薬局</p> <p>神戸區元町二丁目 電話三三〇三七番</p>	<p>千代田婦人帽子店</p> <p>神戸區元町一丁目 電話三三〇五七三番</p>
<p>キ リ ン ヤ 本 店</p> <p>神戸區元町六丁目 電話三三〇二六三番</p>	<p>赤壁商店</p> <p>神戸區元町四丁目 電話三三〇二一九番</p>	<p>帝國蠶糸會社 神戸販賣部</p> <p>神戸區元町三丁目 電話三三〇三〇五九番</p>	<p>ヤ タ ナ カ オ 和洋雜貨商店</p> <p>神戸區元町三丁目 電話三三〇三三三番</p>
<p>グ リ 婦人 手 仕 洋 服</p> <p>神戸區元町六丁目 電話三三〇二六三番</p>	<p>南坂屋洋傘肩掛店</p> <p>神戸區元町四丁目 電話三三〇二三三番</p>	<p>伊坂牧農園</p> <p>神戸區中山手通四丁目 電話三三〇四四九番</p>	<p>コ ン サ ー ト ン 電機商會</p> <p>神戸區加納町五丁目 三宮驛前ビル 電話三三〇一七三番</p>

昭和十一年一月一日印刷
 神戸市林田區前原町一丁目
 百九十三番屋敷
 編輯兼發行人 島田 貴 男
 印刷人 石 井 卯 剛 所
 發行所 神戸 慶 應 俱 楽 部